

校長あいさつ

令和4年4月2日撮影

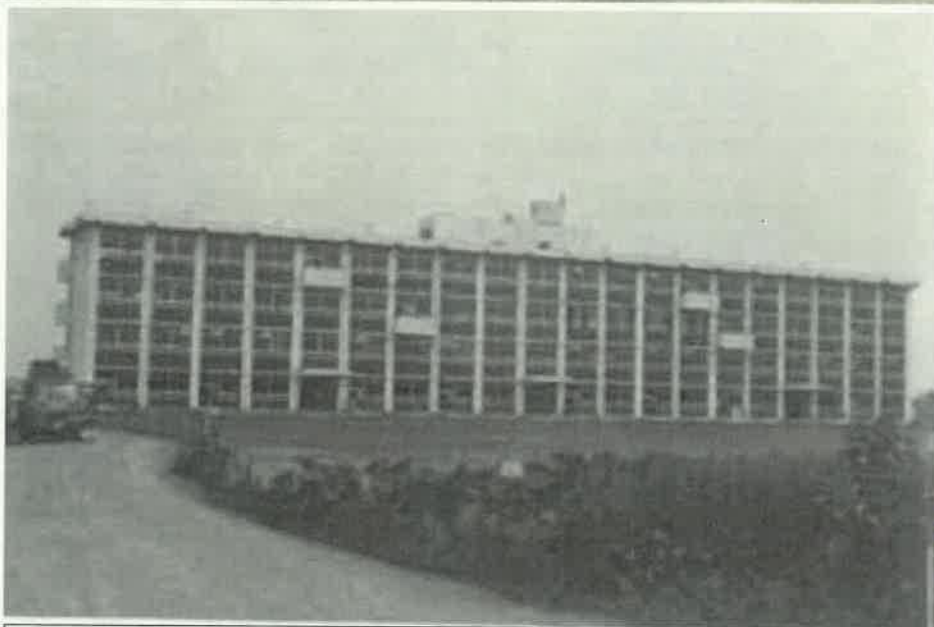
本校は、昭和55年4月1日に1、2年生321名で開校し、令和4年度で43年目を迎えました。昨年度83名の卒業生を送り出し、4月1日に102名の新入生を迎え、2年生85名、3年生72名の259名で今年度がスタートしました。

卒業生の数も4,682人となり、42年の歴史と伝統を誇る学校となっています。PTA や地域の皆様もとても学校へ協力的であり、生徒達も明るく素直で何事にも一生懸命に取り組んでいます。

今年度も学校教育目標である「自ら磨き 未来を拓く生徒」の育成を引き続き目指していきたいと考えております。また、その具現化を図るための3つの生徒像である「1. 学力を身につける生徒 2. 心を磨く生徒 3. 体を鍛える生徒」を目指した授業や行事、部活動、生徒会活動等の教育活動に教職員が一丸となつて取り組んでまいります。そして、将来も自分を研ぎ続け、成長させていく心身ともにたくましい生徒を育ててまいります。

これらの目標としている生徒達を育てていくためには、PTA や地域の皆様のご協力なくしては、成り立ちません。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

鯨井中学校 第15代 校長 大野光男



鯨井中学校の開校時

川越市立名細・霞ヶ関東両中学校のマンモス化を解消するため、現在の川越西文化会館のある敷地にプレハブの仮校舎を建てて開校しました。

- 1 開校：昭和55年4月1日 1年生177名（4クラス）
2年生144名（4クラス）
- 2 校訓：「努力」「責任」「親和」と定められる
- 3 制服：昭和55年6月に制定させる。
- 4 開校記念日：11月15日となる（開校記念式典が行われた日）。
- 5 PTA 設立：昭和55年10月25日設立総会が開催される。
- 6 校旗・校歌：昭和56年5月11日に披露・発表される。



校章の由来

地名鯨井の「井」と中学校の「中」を組み合わせ全体の形は、地区内にある天然記念物、鯨井の大ひいらぎの木の葉を模してデザインしたものです。